



神奈川大学附属 中・高等学校

その昔、大学の位置する宮面^{みやも}が丘^{ふくい}は、馥郁たる菊の花が咲いていたと伝えられています。菊は延年草で、均整の取れた花弁は輝く太陽を表しています。また、この地は、鎌倉時代、六角太郎が治め、六角橋と名づけられてきました。六角形の菊はこれらに由来し、中学校の校章には「中」の文字を配し、制定しました。